

# 令和2年度 【相生市】認知症地域支援推進員活動報告

【相生市】の認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員： 8 名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
  - ・ オレンジ・サロン（認知症カフェ）の運営支援
  - ・ 認知症ケアネットの普及、啓発
  - ・ オレンジの会（認知症担当者連絡会）への参加
  - ・ 見守りSOSネットワークの普及、啓発
  - ・ 認知症の本人、家族への支援
  - ・ 認知症予防、早期発見に関する事業
  - ・ 認知症のある方の見守り支援（地域づくり講座）の実施

**報告者氏名：**（地域包括支援センター）矢竹いち子  
（相生市長寿福祉室）柴田潤子

# 【相生市】認知症施策全体図

新オレンジプラン七つの柱	相生市の取り組み
①認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症サポーター養成講座</li><li>・キャラバンメイト連絡会の開催</li><li>・サポーター・キャラバンメイトフォローアップ研修の実施</li></ul>
②認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供	<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症ケアネットの作成、普及啓発</li><li>・認知症地域支援推進員の配置</li><li>・認知症初期集中支援チーム設置</li><li>・認知症早期発見事業</li><li>・物忘れ相談（月1回）</li></ul>
③若年性認知症施策の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・物忘れ相談（月1回）</li><li>・若年性認知症家族会</li></ul>
④認知症の人の介護者への支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・オレンジ・サロンの設置、運営支援、普及啓発</li><li>・家族会（社協）</li></ul>

## 新オレンジプラン七つの柱

## 相生市の取り組み

⑤認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

- 相生市みまもり事業の実施（みまもりグッズの交付）
- 見守りSOSネットワークの普及、啓発
- 徘徊高齢者等家族支援サービス事業（GPSの貸与）
- 成年後見、市民後見制度の利用促進
- 認知症相談センターの設置（包括内）
- 高齢者虐待防止に向けた取り組み
- 介護予防推進講座における認知症講話
- 地域づくりの推進講座

⑥認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進

- 認知症予防教室

⑦認知症の人やその家族の視点の重視

- オレンジ・サロンの設置、運営支援、普及啓発
- 若年性認知症家族会

# 【相生市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告 テーマ番号〈 ⑧ 〉

## 認知症の人にやさしい地域づくりに関する独自の取組

目的:相生市の高齢化率は34%を超えます。

地域によっては50%を超えるところもある中、介護サービスだけに頼るのではなく、

お互いがお互いを見守り、支援をする側と、される側の関係を超えてつながることで、住み慣れた地域で

誰もが役割と生きがいを持ち、  
安心して暮らせる地域をつくる。



方法:サポーター養成講座を受講後のグループに対して、応援講座(地域づくりのすすめ)を開催。

# 応援講座（地域づくりのすすめ）実施の様子



行政・地域包括支援センター・  
生活支援コーディネーターが協働

市内16グループ  
約211名の方が参加

私たちが  
出来ることは？

- ・無理なくできる範囲で。
- ・続けられることを。



# 〈あなたの出来る活動はどんなことですか?〉

(参加者アンケート結果より)

- ・ご近所の方とあいさつをする。
- ・100歳体操に行くときには、隣近所を誘い、一緒に行く。
- ・近所の足の不自由な方の家に行き、話し相手になる。なってもらう。
- ・お地蔵様にお水をあげて、廻りを掃除する。
- ・自分が買い物に行くときに、隣の人を誘う。
- ・家廻りの草抜きをする。
- ・隣家の一人暮らしの人、電気が点いているか気にする。

最後に・・・

(今後の取組みに対する認知症地域支援推進員としての思い)

やってよかった！！

すでにあるグループに実施することで、お互いが具体的に出来ることを考えるきっかけになった。講座で訪問する事で、住民さんとの関わりができ、地域の力を知ることができた。

